

2024年11月22日

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団

グローバル・インフラストラクチャーに関する調査研究を体験する 夏期インターンシッププログラムを開催

～今年で4回目の開催、独自性の高いプログラムを対面式とオンラインで提供～



夏期インターンシッププログラムの様子

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団（所在地：東京都港区、理事長：中山幹康、略称：日本 GIF）は、2024年8月から10月にかけて、全国の大学の学部生を対象に、調査研究体験を通じてグローバル・インフラストラクチャーへの関心を喚起することを目的とした、夏期インターンシッププログラムを、都内の会場およびオンラインにて実施しました。本プログラムは、今年で4回目の開催であり、他に類似のない独自性の高いプログラムです。毎回、意欲的な学生が全国から集まっています。

夏期インターンシッププログラムは、8月3日（土）と4日（日）、都内の会場で対面式ミーティングにてスタートしました。東京および地方から応募のあった10名のインターンを5名×2チームに分け、両チームに具体的なグローバル・インフラに関する調査研究テーマとして「離島における『蓄電インフラ』導入可能性評価」を示し、ミクロネシア連邦のポンペイ島チームと、セーシェル共和国のマヘ島チームに分かれて調査研究を始めました。その後、8月から9月の夏休みを利用し、各チームはチューターの指導のもと、数回のオンラインミーティングを実施し、学術論文形式の論文作成を行いました。そして10月6日（日）に都内会場で開催された成果発表会で、チーム毎に発表と質疑応答、有識者の講評、修了証の授与を経て、プログラムは終了しました。

参加したインターンに行った修了後のアンケートでは、下記のようなコメントが得られました。

●テーマについて

- ・調査や話し合いをする中で、テーマについて新たな発見があって面白かった
- ・島の課題をどのような方法で解決していくか考えたり、似た事例を探したりする作業が楽しかった

●調査研究の過程について

- ・普段とは異なる学部の方々との共同作業を通じて、非常にいい刺激をいただいた
- ・皆が議論に積極的で、豊富な知識や経験を持つ学生やチューターと活動できて良かった

●総合的評価

- ・日頃、意識することの少ないグローバル・インフラについて学ぶことができ、興味深かった
- ・自分の知らない分野について調査をして論文にまとめるという、アウトプットの機会を経験できた
- ・大学の後輩にもぜひ受講してもらいたいプログラム

日本 GIF は、今後も広く大学生に体験と交流の場を提供し、グローバル・インフラへの関心を持ってもらうために、夏期インターンシッププログラムを継続していきたいと考えています。夏期インターンシッププログラムは毎年4月頃に募集を開始します。日本 GIF の[ホームページ](https://gif.or.jp/)にて詳細をご確認ください。



夏期インターンシッププログラムの様子

= この件に関するお問い合わせ先 =

公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団

(日本 GIF) <https://gif.or.jp/>

担当：事務局長 坂本晶子

Phone: 050-5601-8106 e-mail : info@gif.or.jp